

たかさう 連携だより

2025年発行
第219号

4月号

新年度のご挨拶 2
院長 小川 哲史

DMATの活動について 3
庶務係長 平塚 拓也

地域連携症例検討会
耳鼻咽喉科頭頸部外科・歯科口腔外科 ... 4～5
耳鼻咽喉科頭頸部外科部長 高橋 克昌
歯科口腔外科部長 稲川 元明

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)活動について ... 6
「ACPを広げる会」メンバー 田中 俊行
櫻井 史子
清原 文

診療放射線科だより 7

臨床検査科だより 8

医師紹介コーナー 9

地域医療連携登録医のご紹介 10～11

セカンドオピニオンのご案内 12～13

外来診療担当表 14～15

院長閑話 16

浜川運動公園
の桜

提供：患者サポートセンター 松井 小百合

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新年度のご挨拶

—地域医療のさらなる充実を目指します—



独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター

院長 小川 哲史

今年も穏やかな春を迎え、新年度が始まります。

昨年度も地域の先生方や住民の方々からたくさんのご支援ご指導をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで昨年4月から本年2月までの11か月の紹介患者数は16,822名、新入院患者数は13,584名、救急車搬送件数は5,785件、手術件数は4,976件で、各々、過去最高かそれに近い件数でした。また、一昨年に導入しましたロボット手術も順調に症例数が増えていて、現在、泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科を合わせて、月に20例近い手術を行っています。今年度も、より侵襲の少ない手術、患者さんの負担の少ない手術や手技に取り組んでいきます。

地域連携としては、一昨年から開始した「心不全病病間連携」に加え、昨年度は新たに3つの連携を開始しました。①当院の腎臓内科専門医師と高崎市医師会とで立ち上げた「高崎市CKD（慢性腎臓病）病診連携」、②地域全体で口腔内管理やケアを継続して行えるよう、高崎市歯科医師会と立ち上げた「高崎市医科歯科連携」、③比較的軽症な救急患者さんを地域の医療施設に救急転送する「救急患者連携搬送による地域連携（いわゆる下り搬送）」の3つです。いずれの連携も順調に運用されており、地域全体でよりシームレスな連携が可能になったと思います。今年度は、さらに地域の医療機関からの紹介受診が、よりスムーズに行えるよう、これまでの電話やFAXによる予約に加えインターネット予約も導入します。

また、今年度も地域の医療従事者向けの連携学術セミナーや症例検討会などにより当院の実績や最新の医療情報を発信し、さらに地域住民向けには市民公開講座や市内長寿センターでの高崎市地域医療講座など、直接触れあう啓蒙活動も継続して行います。

今年度も高崎市・安中市などの行政や医師会等の地域医療機関と協力しながら、当院の急性期中核病院としての使命である市民の方々の命と健康を守るため、職員一同、努力していきます。ご支援、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

DMATの活動 について

庶務係長 平塚 拓也

DMATとは、災害が発生したとき迅速に現地へ出動し、急性期（おおむね48時間以内）から活動できるよう、専門的な訓練を受けた医療チームになります。医師・看護師・業務調整員から構成され、当院には32名のDMAT隊員が在籍しております（2025年3月時点）。

DMAT派遣状況は、2024年1月1日に発生した能登半島地震に、計3隊出動いたしました。隊としての出動以外にも、現地の保健医療福祉調整本部等で、DMAT隊員が活動を行いました。

また災害対策訓練にも力を入れております。2024年7月には、医療従事者や患者に見立てたマグネット人形を用いてシミュレーションを行う、エマルゴ訓練を実施いたしました。2024年11月には、消防局および模擬患者役として当院附属高崎看護学校の学生にも協力いただき、より具体的な災害時の対応を想定できるよう、実動訓練を実施いたしました。これらの訓練はDMAT隊員ではない職員も参加し、病院全体で災害対策に取り組んでおります。



院内の災害訓練だけでなく、外部で実施されている研修や訓練にも積極的に参加しております。2025年3月には、令和6年度関東ブロックDMAT訓練に参加いたしました。この訓練は、大規模災害時の連携強化を図ることを目的とした、関東ブロック7都県、新潟県及び長野県のDMAT並びに群馬県の関係機関による訓練になります。当院にも、県外から多くのDMAT隊が来院し、合同で訓練を行いました。

災害はいつ起こるか分かりません。群馬県の災害拠点病院として、常に災害に対応できるよう、対策を強化していきます。また県外で災害が発生した際も、迅速に出動し支援を行えるよう、一丸となって活動に取り組んでいきます。今後もより一層のご支援をお願いいたします。



地域連携 症例検討会

耳鼻咽喉科頭頸部外科・ 歯科口腔外科領域疾患の 診断と治療の連携

耳鼻咽喉科頭頸部外科

耳鼻咽喉科に紹介になった、顔面神経麻痺の症例と治療経過を報告しました。

ある朝、突然、あなたの顔が曲がったらどうでしょう。顔は命です。死ぬ病気ではありませんが、気が滅入って、家に閉じこもってしまいます。目が閉じないので、乾燥してドライアイです。お味噌汁を飲んでも、口元から漏れてしまいます。何より、鏡に写った自分の顔にがっかりします。この病気は、老若男女、誰にでも起こりえます。仕事や受験勉強に疲れているあなた、要注意です。ストレスで免疫力が落ち、体に眠っていたウイルスが暴れ出す（再活性化）のが原因です。図は、顔面神経麻痺の例ですが、麻痺側（左）の顔の筋肉がたるんでいます。患者さんの顔写真は、紙面に掲載できないので、私の顔を使って、AIで麻痺を再現しました。



元になるウイルスによって、症状も治り方も違います（表を参照）。大半は、よく治る単純ヘルペスが原因ですが、帯状疱疹の時は大変です。顔の麻痺だけでなく、耳の周りの痛い皮疹、難聴やめまいも生じます。強い治療をしても、治らない人が多いです。専門医がこの2つの病気を確実に診断して、正しい治療を施すことが大切です。顔が曲がったら、すぐ耳鼻科の専門医にご相談ください。当院では、大量のステロイド、抗ウイルス薬、言語療法士による顔マッサージ・リハビリテーションを組み合わせ治療をしています。治りの悪い症例には顔面神経管を開放する手術も行っています。当院での治療の詳細は、二次元バーコードからご覧ください。



当院での顔面神経麻痺の治療について詳しく説明します



額の皺がない
まゆ毛が下がる
目が閉じない
腫が大きくパッチリ
鼻から口の皺がない
口角が下がる
食べ物が横からもれる

図 1

表 1

病名と頻度	ベル麻痺 80%	ハント症候群 20%
症状	顔の麻痺のみ	顔の麻痺 耳周囲の痛い皮疹 難聴やめまい
原因ウイルス	単純ヘルペス	帯状疱疹
予後と治癒率	よく治る 96%	治りにくい 60%





座長
宮下 元明 先生
(宮下耳鼻咽喉科)

耳鼻咽喉科頭頸部外科
部長

高橋 克昌
(左)

歯科口腔外科部長

稲川 元明
(右)



歯科口腔外科

さる2025年2月18日に第53回地域連携症例検討会でお話しさせていただく機会をいただきました。

お話ししたいことはたくさんございましたが、今回は地域における医科と歯科の連携をより強化するシステム作りについて焦点を絞り、お話しさせていただきました。



手術前からお口の中の環境を整えておき、手術をお受けになって退院されてからも引き続きお口の中の環境を維持することについては、手術後にお口から食事ができるようになるまでの時間や手術後の回復に要する時間が短くなり、結果的に入院期間も短くなるなど、数多くの利点があることがすでにわかっています。

手術が決まってから入院して手術をお受けになって退院されるまでの期間（周術期 [しゅうじゅつき] といいます）の患者さんのお口の中の管理には、当院でも2020年に患者サポートセンターが稼動してからはそれまで以上に積極的に関わっており、限られた人員で最大の効果を出せるよう、関係者一丸となって努力して参りました。

あらためて5年が経過して思うことは、周術期のお口の中の管理を充実させるためには、周術期「前後」のお口の中の管理が大切だということで、そのためには患者さんのかかりつけの歯科医院との連携が非常に重要だということです。

そのような背景があり、ここしばらくは地域の歯科医院とより強力な連携関係を構築するために院内で数々の準備や調整を重ね、高崎市歯科医師会とよく話し合ってきました。そしてこの度ようやく形になってきた現状についてご報告させていただきました。

まだまだ完成形とはいえないものの、引き続きシステムをブラッシュアップしていきたいと思っております。

今後とも地域医療に貢献していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。



アドバンス・ケア・プランニング (ACP) 活動 について

「ACP を広げる会」メンバー 田中 俊行・櫻井 史子・清原文

近年、病院や地域など様々な場所でアドバンス・ケア・プランニング (ACP) の活動が広がりをみせています。当院では、2022年7月に有志で「ACPを広げる会」を立ち上げ、院内外で活動を続けています。今回、医療者の皆様に、ACPについてもっと理解してもらいたいとの思いから、2025年2月14日に、筑波大学医学医療系緩和医療学教授の木澤義之先生をお招きし、ACPをテーマとしたがん診療連携拠点病院講演会を開催しました。当日は、院内外の参加者があわせて170名という大盛況の中、ACPの基礎から臨床での具体的な実践方法まで教えていただきました。



講演会での学び

医師は、患者さんに対し、悪い知らせを伝えなければならないことがあります。例えば、がんの患者さんに対し、「予後の悪いがん (難治がん) の診断」「がんの再発・転移」「積極的抗がん治療の中止」を伝えることなどがあげられます。その中でも、「積極的抗がん治療の中止」を伝えることは、医師にとってもつらい場面といえます。患者さんは、つらい状況の中、今まで治療を一緒にやってきた担当医と今後について相談

したい (狭義のACP) と考えますが、どう話をすればいいか迷われているかもしれません。今回のACPの講演会を聴いて、患者さんを途方に暮れさせないためにも、医師として、そして医療者として、コミュニケーション・スキルの習得が重要と感じました。当院でもACPに関するコミュニケーションのマニュアル化を目指したいと考えます。

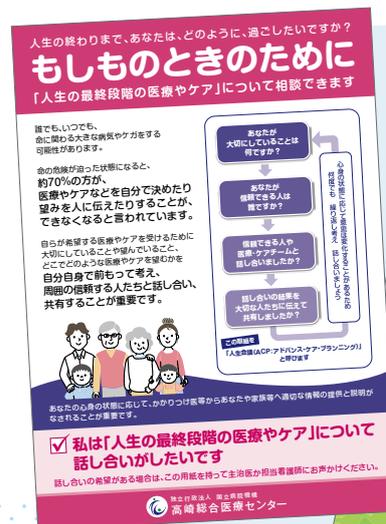
当院のACP活動

● 院外での活動

高崎市と協働し「私の意思表示ノート」を作成しました。また高崎市の高齢者なんでも相談支援センターで、一般市民の方を対象として月に1回、ACPについての勉強会を実施しています。

● 院内での活動

もしもの時に備えて話し合いがしたいと思ったときに、医療者に声をかける手段として、患者さん・ご家族向けにACPリーフレット「もしものときのために」を作成し、院内各部署に設置しています。ACPについて話したい!と思ったときは、リーフレットを手に取り主治医や看護師にお気軽にお声かけください。



医療機器共同利用 のご案内

当センターで保有しています医療機器を、
地域の医療機関の先生方にもご利用いただけます。
患者さんの診療および治療にお役立てください。

放射線治療装置が新しくなりました Varian社 TrueBeam

高精度かつ安全な放射線治療の実現にむけて

放射線治療センターでは、2024年度5月の治療計画装置のバージョンアップ、8月の治療計画用CTの更新を経て、12月に放射線治療装置（リニアック）が新機種であるVarian社製 TrueBeamに更新されました。

TrueBeamは汎用性が高く、一般的に行われている照射方法（固定門照射や強度変調放射線治療IMRT・定位放射線治療SRTなどの高精度治療、呼吸同期照射など）を実施でき、さまざまながんに対する外部照射に対応可能です。

照射部位の位置照合のためにX線撮影が用いられますが、撮影方向の任意選択や呼吸同期撮影が追加され、より迅速により正確に照射位置を合わせることができるようになりました。

また、装置の位置情報や照射線量などはデジタル情報として逐一監視され、1mm以下の精度での正確な放射線治療を実施できます。

照射時には様々な方向から放射線を照射するため、患者様を中心に装置が回転していきますが、赤外線レーザーセンサーにより装置と患者様との接近を未然に検知できるなど、安全な放射線治療を提供できるような機能が充実しています。

体表面画像誘導を用いた放射線治療

TrueBeamのオプション機構としてIDENTIFY体表面モニタリングシステムを新規に導入しています。IDENTIFYは治療室天井に設置された3台のカメラから可視光で体表面を照らし、その反射を利用して体表面の位置情報を検出します。これにより体表面画像誘導放射線治療（SGRT）を実現し、放射線治療開始時のセットアップ精度向上と時間短縮、治療中の体動検知による照射位置ずれの抑制、X線撮影に代わる位置照合として追加被ばくの低減、患者様の体に描かせていただくマーキングの削減などが期待できます。



Varian社 TrueBeam



治療計画用 CT



第 85 回 臨床検査科だより



薬剤感受性検査とは

今回は薬剤感受性検査についてです。

薬剤感受性検査とは、感染症の原因となる菌名や種類が確定されたあと、どの抗菌薬が有効かを調べるための検査です。この検査にはディスク法と希釈法の2種類の方法があります。

ディスク法

ディスク法は、菌を塗った培地上に、薬剤をしみ込ませた丸い濾紙（ディスク）を置き、菌が発育しない部分の円（阻止円）の有無を調べます。ディスクに含まれる薬剤が、菌に対して効果があれば、そのディスク周辺に菌は発育せず阻止円が形成されます。

結果は阻止円の大きさにより判定し、S（Susceptible感性）、I（Intermediate中間）、R（Resistant耐性）で表します。



希釈法

希釈法は、薬剤の希釈系列を作り、菌を接種しどの濃度まで発育したかを調べます。菌の発育が阻止される最小の薬剤濃度を求める方法です。

当院では専用の機器とパネルを使用しています。

近年、様々な種類の薬剤耐性菌（抗菌薬が効かない菌）の増加が問題となっています。適切な抗菌薬の選択ができるよう、薬剤感受性検査が重要です。

正確な検査結果をなるべく早く報告できるよう努めています。

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



救急科

あおやま だいき

青山 大貴

昨年10月より高崎総合医療センター救急科に赴任となりました、青山大貴と申します。

出身は群馬県前橋市で、群馬大学卒業後に伊勢崎市民病院で初期研修を行いました。初期研修終了後、群馬大学医学部附属病院救急科に入局し現在に至ります。

救急科では様々な疾患に対応するとともに、各科の先生方にもご協力いただきながら診療を行っています。私自身も少しでも他の先生方のお役に立てるように頑張っていきたいと思っています。

まだまだ若輩者で勉強中の身ではありますが、高崎地区の皆様安心して暮らせるよう地域医療へ貢献できるように頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



放射線診断科

はら ゆうき

原 佑樹

2024年10月より高崎総合医療センター放射線診断科に赴任しました原佑樹と申します。出身は群馬県太田市で、金沢大学医学部を卒業後、当院で2年間の初期研修を行ったのち、埼玉医科大学放射線科へ入局しました。埼玉医大時代も週1回の非常勤として高崎に来させていただいたため、かれこれ10年以上お世話になっております。

当科では画像診断、近隣医療機関からの画像検査紹介、IVR（CTガイド下生検、血管造影）、核医学治療（RI内用療法）と多くのことに力を入れ精力的に働かせていただいております。特にRI内用療法においては、今後日本でもルテチウム-177 PSMA（前立腺特異的膜抗原）を用いた新たな前立腺癌治療が解禁される見通しでもあり、非常に注目度の高い分野になります。

ところで、先述のように私は金沢大学の卒業ですが、どういいうわけか当科には金沢に関係するスタッフ（常勤・非常勤含め）が多く、何か運命的なものを個人的に感じております。

まだまだ若輩者ではございますが、画像を通して患者さんや院内・院外を問わず多くの先生方のお力になれるよう精進してまいります。今後とも宜しく願い申し上げます。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

医療法人 愛生会 セントラルレディースクリニック

院長あいさつ

平成6年9月に開院以来、診療を受けられる皆様に対し

- ①リラックスできる環境作り
- ②十分な説明と同意そして選択
- ③満足度の向上を実行できるようにクリニック施設の整備

職員研修に積極的に取り組んでいます。多くの方々とお会いできることを心よりお待ちしております。



医師
角田 隆



医師
織田 利光

診療科・病院案内

産科・婦人科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~11:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:00~17:30)	●	●	●	△	◆	△	△

※：妊娠 36 週以降の健診受付時間は 16:30 迄です

◆：金曜日の 14:00 ~ 16:00 は産後健診となります

群馬県高崎市東町80-7 TEL:027-326-7711

当クリニックは医師（2人）、助産師、看護師など総勢40名ほどです。診療は、妊婦健診、分娩取り扱い、不妊治療、婦人科手術（腹腔鏡手術を含む）などを行っています。診療を受ける方、ご家族に対してハートフルなケアと最善の医療により、安全と安心を提供しコミュニケーションを大切にすることで、満足いただける医療に努めております。

耳鼻咽喉科 やまぐち医院

院長あいさつ

一人一人の患者様の症状にそった的確な診断、治療、わかりやすい説明をモットーに地域の皆様に貢献してまいりたいと思います。



やまぐち医院
院長
山口 良明

診療科・病院案内

耳鼻咽喉科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	△	●	◆	△
午後(14:30~18:00)	●	●	●	△	●	△	△

◆ 土曜の午前は 9:00 ~ 12:00 までです。

群馬県高崎市柴崎町1068-1

TEL:027-353-5473

- ・アレルギー性鼻炎に対するアルゴンプラズマ凝固
 - ・めまいの診断治療
 - ・補聴器等の相談
- 他、耳鼻咽喉科一般について診療しております。

宮川皮膚科クリニック

院長あいさつ

地域のかかりつけ医をめざし、日々患者さんとの触れ合いを大切に、地域医療に従事しています。患者さんが話しやすくなるような雰囲気づくりにも、細心の心配りをしています。

皮膚に関してのお悩みや心配事などがございましたら、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。



宮川皮膚科クリニック
院長
宮川 真梨江

診療科・病院案内

皮膚科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	△	●	●	△
午後(15:00~18:00)	●	●	●	△	●	◆	△

※：泰一先生の外来は月・土です。

◆：土曜の午後は 14:00 ~ 16:30 まで。

群馬県高崎市金古町706-7 TEL:027-373-8855

当クリニックは、治療を始める前にカウンセリングの時間を充分とり、患者さんのお話をじっくりお伺いいたします。その上で、より最適な治療方法をご提案し、治療内容や使用するお薬にいたるまで、わかりやすくご説明をいたします。患者さんに治療方針をご納得いただいたうえで治療を開始していきますので、安心してご来院ください。

小手術、巻き爪治療もしておりますので、お気軽にご相談ください。

医療法人 裕心会 いわい中央クリニック

院長あいさつ

当クリニックは、内科、皮膚科、泌尿器科、消化器内科、外科の診療を提供する総合的なクリニックです。スタッフ一丸となり、誠実な医療を提供いたします。体調不良がある時はもちろん、健康診断で異常が指摘された際やどこに受診したら良いかわからない時など、お体に関するどんな事でもお気軽にご相談ください。各種予防接種、健診や人間ドックなどの予防医療にも力を入れています。訪問診療も積極的に行なっております。

皆様が安心して医療サービスを受けていただける「かかりつけ医」を目指し誠心誠意努力をしております。どうぞお気軽にご相談ください。



理事長
神保 裕之



院長
外處 真道

診療科・病院案内

内科・皮膚科・腎臓泌尿器科・消化器内科 内視鏡内科・外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:30)	●	●	●	往診	●	往診	△

群馬県安中市岩井2465-1 TEL:027-381-2201
<https://iwaicc.com/>

内視鏡内科・消化器内科を充実させ2診体制にて待ち時間の短縮に努めます。訪問診療も積極的に行っております。

皆様が安心して医療サービスを受けていただける「かかりつけ医」を目指し誠心誠意努力をいたしております。どうぞお気軽にご相談ください。



予約QRコード

セカンドオピニオンのご案内

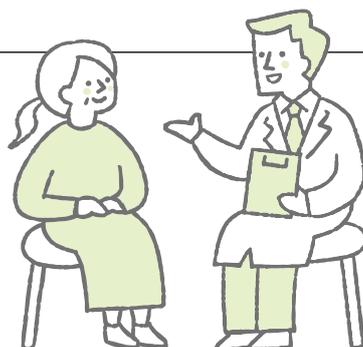
当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者がご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
呼吸器外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

2025年3月17日現在

外来診療担当表

新体制に向け準備中です。

3月17日現在 決定している担当医についてお知らせいたします。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	佐藤 正 通 <small>予約のみ</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small> (田村 耕 成)	佐藤 正 通 <small>午後</small> (合田 史)	佐藤 正 通
栄養食事指導外来		佐藤 正 通 <small>午後</small>			
腎臓・膠原病リウマチ内科	<交代制> <small>午前:新患</small>	中里見 征 央 <small>午後</small> 佐井 友 哉 <small>午前:新患</small>	渡辺 光 治 <small>午前:新患</small>	渡辺 光 治 <small>午後</small> 佐井 友 哉 <small>午前</small>	中里見 征 央 <small>午前:新患</small>
血液内科	(三井 健 揮) <small>午後</small>				
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	戸塚 淳 淳 (植原 正 也)	渋沢 信 行 植原 良 太	渋沢 信 行	渋沢 信 行 植原 良 太
脳神経内科	平柳 公 利 清水 千 聖	平柳 公 利	清水 千 聖 <small>午後</small> 佐藤 隼 矢 <small>午後</small>	柴田 真	木部 朱 理
呼吸器内科	中川 純 一 根生 明 李	細野 達 也 倉島 優 理 亜	小林 頂 頂 田口 浩 平	中川 純 一 若松 郁 夫	細野 達 也 小林 夏 緒
消化器内科	長沼 篤 篤 <small>午前</small>	星野 崇 崇 <small>午前</small>	柿崎 暁 暁 <small>午前</small>	長沼 篤 篤 <small>午前</small>	上原 早 苗 <small>(紹介のみ)</small> <small>午前</small>
	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>
	上原 早 苗 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	書上 愛 愛 <small>午前</small>
	成清 弘 明 <small>午前</small>	成清 弘 明 <small>午前</small>	井戸 健 太 <small>午前</small>	齋藤 董 董 <small>午前</small>	田中 琴 琴 <small>午前</small>
	石原 弘 弘 <small>午後</small>		石原 弘 弘 <small>午後</small>		
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田 昌 樹 村田 智 行	高橋 伸 弥 大駒 直 也	広井 知 歳 羽鳥 直 樹	福田 延 昭	小林 紘 生 柴田 悟 悟
新患外来(午前)	高橋 伸 弥	柴田 悟 悟	村田 智 行	羽鳥 直 樹	大駒 直 也
不整脈外来(午後)	太田 昌 樹		太田 昌 樹		小林 紘 生
心不全総合外来(午後)		高橋 伸 弥			
ペースメーカー外来(午後)					太田 昌 樹 <small>第2,4週</small>
精神科	山崎 雄 高	山崎 雄 高	山崎 雄 高	山崎 雄 高 (井田 逸 朗)	山崎 雄 高 神出 誠 一郎 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	小笠原 聡 聡	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>
	田口 未 奈 <small>午後</small>	倉田 加 奈 子 <small>午前</small>	倉田 加 奈 子 <small>午後</small>	倉田 加 奈 子 <small>午前</small>	小笠原 聡 聡 <small>午後</small>
	新井 修 平 <small>午後</small>	溝口 史 剛 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午後</small>	野村 美 緒 <small>午前</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午前</small>
	溝口 史 剛 <small>午後</small>	新井 修 平 <small>午後</small>	尾形 詩 音 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>第1,3,5週午後</small>	八木 久 子 <small>第2,4週</small>
	山下 真 沙 美 <small>午前</small>	田口 未 奈 <small>午前</small>	(滝沢 琢 己) <small>第1,3,5週午後</small>	春日 夏 那 子 <small>第2,4週午後</small>	(浅見 雄 司) <small>第2,4週</small>
	前原 利 勝 <small>第1,2,3,5週午後</small>	<乳児健診> <small>午前</small>	八木 龍 介 <small>午後</small>		
小児外科	(西明・高澤慎也) <small>第1,3週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>			
外科 (消化器)	坂元 一 郎 <small>午前:通常/午後:肝臓専門外来</small>	小川 哲 史 <small>午前</small>	家田 敬 輔 <small>午前:通常/午後:上気消化器専門外来</small>	平井 圭 太郎 <small>午前:通常/午後:肝臓専門外来</small>	宮前 洋 平 <small>午前:通常/午後:肝臓消化器専門外来</small>
栄養サポート外来	鈴木 雅 貴	真木 茂 雄	大曾根 勝 也	新井 明 々 花 <small>午前</small>	内藤 稜 山
禁煙外来		小川 哲 史 <small>午前</small>			
ストーマ外来		小川 哲 史 <small>午後</small>	第2,4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅 晴 栗原 聰 太 大 屋 裕 裕 <small>午後</small>	柴田 康 博 栗原 聰 太 大 屋 裕 裕 <small>午後</small>	交代制	柴田 康 博 井上 雅 晴	交代制

※2024年10月1日より「神経内科」は「脳神経内科」に名称が変更となりました。

01 外来診療受付時間 8:30~11:00まで (予約の場合は最終予約時間まで) ※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはホームページをご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護外来		田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生	鯉淵幸生	鯉淵幸生	(荻野美里) 第2,4週午後・予約	高他大輔
	成澤瑛理子	高他大輔	高他大輔	(青木麻由) 第1,3,5週午後・予約	成澤瑛理子
	本田周子	成澤瑛理子	本田周子	交代制	本田周子
	<手術日>	本田周子		<手術日>	<手術日>
心臓血管外科	<手術日>	交代制	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 第1,3週午前・第5週午前・午後 高坂貴行 第2,4週 牛久保陸生	<手術日>	伊部崇史 午前 高坂貴行 午後 牛久保陸生	<手術日>
整形外科	荒毅	大澤敏久	荒毅	新井厚 午後	大澤敏久
	信太晃祐	大島淳文	信太晃祐	茂木智彦	一ノ瀬剛
	茂木智彦	清水大雅 午前	一ノ瀬剛 清水大雅 午前	<手術日>	大島淳文
骨粗鬆症外来		新井厚 午後			
形成外科	交代制 <手術日>	形成外科	正田晃基 午後	<手術日> 正田晃基 午後	形成外科 <手術日>
脳神経外科	田中志岳	連携枠	<手術日>	常岡明加	佐藤晃之
皮膚科	岡田悦子	岡田悦子	岡田悦子	中島理子	岡田悦子
	周藤貴之	周藤貴之	周藤貴之	(井上千鶴)	
		中島理子			
産婦人科	伊藤郁朗	青木宏	<産後健診>	(金井真理)	伊藤郁朗
	黒住未央	黒住未央	(井上直紀)		青木宏
	東杏莉				東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 紹介・予約 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
	岡宮智史			岡宮智史	岡宮智史
放射線治療科	永島潤	永島潤	永島潤	永島潤	永島潤
	田村翠	田村翠	田村翠	田村翠	田村翠
			(堀込瑛介) 午前		井上徹朗 午前
歯科口腔外科	柴野正康	<手術日>	柴野正康	柴野正康	<手術日>
	田中斉		田中斉	田中斉	
新患外来	田中斉		柴野正康	柴野正康 午後 田中斉 午前	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ (倉持真理子)	稲川元明 (倉持真理子)	稲川元明 (倉持真理子)	稲川元明	稲川元明 (倉持真理子)
		(荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ			

※2024年10月1日より「耳鼻いんこう科」は「耳鼻咽喉科頭頸部外科」に名称が変更となりました。()の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただけますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》
FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.46

温泉は日本の文化だ

院長 小川 哲史



若いころは銭湯や温泉に行っても、風呂のお湯が熱くて湯船に長く入っていただけでしたが、年を取るにつれ、特に還暦を過ぎたころから湯船にゆっくり入れるようになりました。今では湯船に浸っている時こそ至福の時、温泉こそ最高の道楽だと思えるようになりました。

現在、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録への機運が高まっています。温泉は病気やけがを治す湯治場としての利用から、美しい景観や自然の中で疲れた心と体を癒やす保養地としての役割があり、また温泉饅頭などの名物や郷土料理、こけしなどの伝統的な固有の工芸品や芸能など日本独自の文化として発展し、まさに無形文化遺産にふさわしいと言えるでしょう。

温泉は文学とのかかわりが深く、明治から昭和の小説や随筆には、温泉が舞台の作品や湯治中に執筆した作品がたくさんあります。まずは川端康成。「雪国」の舞台は越後湯沢温泉で芸者の駒子との物語、「伊豆の踊子」の舞台は伊豆の温泉で、露天風呂のシーンが有名です。志賀直哉の「城の崎にて」は事故後に療養した城の崎温泉での出来事そのままの小説。そして夏目漱石。「坊ちゃん」であまりに有名な道後温泉、「草枕」の熊本の小天温泉、「明暗」の未完のラスト(?)温泉宿での緊迫の場面は印象的です。さらに大吐血により危篤状態に陥った修善寺温泉など、漱石と温泉は切っても切れない感じです。また群馬県内にも若山牧水や野口雨情、太宰 治など文豪ゆかりの温泉が多数ありますね。

さて、県北部の上牧温泉に「裸の大将」こと山下清画伯が、新潟への旅の途中に頻りに立ち寄っていた旅館があります。今も大浴場の壁一面には同氏の「大峰沼と谷川岳」のタイル壁画が飾られています。私事ですが今から20年ほど前にこの旅館の当時のご主人の手術を執刀しました。そのご主人(F氏)は非常に温かな方で、手術前後の辛い時期を含め私たち職員に常に穏やかに丁寧に接し、その誠実で謙虚な人柄に、何よりも柔和な笑顔に私たち医療者の方が癒されていました。残念ながら2年ほど前に93歳で亡くなりましたが、今もその笑顔が脳裏に浮かびます。

そんな縁もあり、先日、久しぶりに同旅館にお邪魔しました。夕食時に跡を継がれたご子息のご主人と女将さんの3人でF氏の思い出話に花が咲きました。考古学や園芸、短歌などたくさんの趣味があり歌集まで出されたことや、旅館の社名は「接人如春」で、また座右の銘は「春風秋霜」であることなど、非常に興味深く聞き入りました。特にこの座右の銘「春風秋霜」の由来が「言志四録」であることには感銘を受けました。家に帰って早速、買ったきりほぼ「積ん読」状態になっていた「言志四録」を取り出し調べたところ…、ありました!!「言志後録」の第三十三条、現代語訳すると「春風の温かさをもって人に接し、秋霜の厳しさをもって自らを慎む」。まさにF氏の人柄、生き方を表しています。今更ながらにF氏の温かさが思い出され、山下清氏が定宿にしていた理由がよく分かりました。

さて、「言志四録」をご存じでしょうか。江戸時代の儒学者、佐藤一斎(1772~1859)が後半生の四十余年にわたって書いた語録で、「言志録」「言志後録」「言志晩録」「言志壘録」の四書からなり、全項目は1133カ条に及びます。一斎の弟子または師と仰ぐ人たちには佐久間象山、横井小南、渡辺華山、山田方谷、さらに西郷隆盛などがいます。特に西郷の傾倒ぶりはすごく、「言志四録」から101カ条を抜き書きしたものを座右の銘として愛誦し、「南洲手抄言志録」として残したほどです。

「温泉文化」とは、この旅館のご主人F氏のような本物の「もてなしの心」を持ち、かつ文化をこよなく愛する方々と、文豪や画家など様々な分野の文化人とが時間をかけて築き上げたもので、私たちはその歴史や物語、旅情に触れることで癒されるのでしょうか。そんなことを思いながら、これから全国の温泉文化をもっともっと楽しみたい!などと夢が膨らみます。

(3月14日)

Information

行事などのお知らせ

第149回がんサーボード

日時: 2025年4月24日(休)
18:00~

診療科: 産婦人科(仮)

会場: 高崎総合医療センター 講堂

対象: 医療従事者

※申し込み不要

4月の
地域連携症例検討会は
休会となります



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索

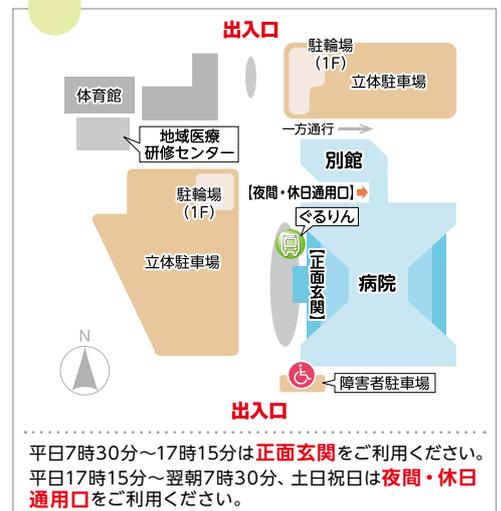


Facebook



Instagram

高崎総合医療センター案内図



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター